

vol.55

2018.10 甲府西高情報誌

西高のステージへ!

山梨県立甲府西高等学校  
Kofu Nishi High School

# nstage



# 学校説明会 (7/22)

～たくさんのご来場ありがとうございました～

コラニー文化ホールにおいて「学校説明会」を開催しました。約1200名(中学生とその保護者)の皆様方にお越しいただき、西高の生活や部活動の様子、そして入試情報などを紹介・説明させていただきました。



会場いっぱいの来場者



会場を湧かせた吹奏楽部の演奏



校長が西高について説明



本校教員による入試説明



進路状況を生徒が紹介



来場者の疑問に答えた個別相談

## 中学生の感想

- ・学校説明会の中で「部活動と勉強の両立」が一番心に残っている。私も高校生活、その後進路も充実できるよう努力したい。
- ・西高でのがんばりがとても伝わってきました。勉強も部活動も一生懸命に取り組み、学園祭も全力で、とても楽しそうでした。

# オープンスクール (9/1)

～ようこそ西高へ～

本校を会場として「オープンスクール」を開催しました。約1100名(中学生とその保護者)の皆様方にお越しいただきました。体験授業や懇談会、また部活動見学を通し、西高での高校生活がイメージできたのではないのでしょうか。



音楽部が校歌で中学生を歓迎



平安時代への誘い



研究者への第一歩



生徒との懇談会は大好評



中学生の質問に何でも答える



卓球で先輩とラリー

## 中学生の感想

- ・西高の明るく自由で楽しそうな雰囲気が伝わってきた。
- ・体験授業が面白かった。本格的な授業を受けられた。
- ・活動を取り入れた授業がとても楽しかった。
- ・懇談会がとても面白く、先輩方がとても優しくかった。

# 2018 「信州総文祭」&「彩る感動 東海総体」

この夏、高校生の2つの全国大会へ、西高から文化部と運動部あわせて6つの部が出場しました。



県合唱団として参加



囲碁部門 3年望月雄真(竜王中)



新聞部門 現地で新聞製作



美術部門 3年坂本菜南子(竜王北中)



放送部門 3年 深沢有佳(若草中)



放送部門 3年 佐藤ゆき(勝沼中)



## 平成30年度全国高等学校総合体育大会卓球競技大会 卓球部

全国のレベルの高さを痛感し、勝つことの厳しさを学びました。成長するための課題も明確になりました。この経験を生かし、次の目標に向けて精一杯頑張ります!

1年 平野 世和(田富中)



## 平成30年度全国高等学校総合体育大会体操競技大会 体操部

全国のレベルの高さに刺激され、自分を高められる良い機会となりました。

2年 渡邊 花歩(玉穂中)



## 平成30年度全国高等学校総合体育大会新体操大会 体操部(新体操)

大きな失敗もなく踊りきることが出来ました。来年も出場できるように、たくさんの人に感謝し、頑張っていきたいです。

1年 篠原 涼(双葉中)

## 放送部門

私達はビデオメッセージ部門に参加しました。今回は開催地である長野県についてのCM制作というコンテストが開催され、表現方法など全国から貴重な経験と刺激を得ることができました。

放送部 3年 佐藤 ゆき(勝沼中)

# 芸術鑑賞会『近藤和彦 スペシャル6tet』（9/14）コラニー文化ホール

爽やかな秋風が吹き始めた9月14日、コラニー文化ホールで芸術鑑賞会が開催されました。今年度は本校OBであり世界で活躍されているサクソプレーヤー近藤和彦さんと5名の仲間たちによる本場のジャズの演奏に触れました。



サクソ、トランペット、トロンボーン、ピアノとドラムそしてウッドベース、どれも見たことも聞いたこともある楽器ですが、普段の生活の中でジャズを聴くこともジャズに触れる機会もこれまでまったくなかったので、今回の芸術鑑賞会はとても楽しみでした。私を感じたジャズのイメージは「自由」です。演奏された曲は私も耳にしたことのある曲もありました。しかし、リズムやテンポにアレンジを加えることで、同じ曲がまったく違う別の曲のように聞こえることが面白く、私はジャズに引き込まれました。ジャズにアレンジされた校歌は本当にカッコ良かったです。そして何より演奏者の方々がとても楽しそうに演奏されていて、私達も楽しい気分で心からリズム（ジャズ）に乗ることができました。近藤先輩、貴重な時間をありがとうございました。

2年 坂本 日奈子(春日居中)

# 秋季球技大会 (10/3)

4日間の前期期末試験終了後、サッカー・ソフトボール・バレーボール・バスケットボール等数種目において、学年オープン制のトーナメント制で戦いました。クラスの団結も高まり、気持ちのいい汗をかいた秋晴れの1日でした。



快晴の球技大会



校長先生も飛び入りの一打



この声援で頑張れます



今年はロシアW杯でした



アタック



西高なでしこ



野球一家の娘です



体育館はバスケで熱狂

# 健康の森 ウォーキング大会 (10/10)

10月10日(水)、快晴の朝「健康の森ウォーキング大会」がスタートしました。今年は安全面からコースがマイナーチェンジされました。全行程17kmを生徒それぞれの計画のもと、走ったり、歩いたり、思い思いに秋の1日を満喫したようです。



スタート前 リラックス



緑が丘を2年生がスタート



3年生は最後のウォーキング大会



元気な1年生



健康の森まであと少し



少し暑かった



お母さんたちに感謝



仲良くウォーキング



校長 手島 俊樹

# 「がんばれ！西高生」「くじけるな！西高生」

好きな作家を問われたら、皆さんなら誰を答えますか。お笑いコンビ「ピース」を結成し、芸能活動を行っている又吉さんは、『火花』という作品で芥川賞を受賞されていますが、彼は中学生の頃、太宰治の『人間失格』を読んで衝撃を受けたと語り、好きな作家に太宰治の名をあげています。

太宰治は本校にとっても縁のある作家です。というのも、太宰の妻で、彼の創作活動を支えた津島美知子(旧姓石原)は、本校の卒業生であります。今年には太宰治の死後70年になるということで、先日、あるテレビ番組でその人生が取り上げられていました。太宰は、晩年、親戚の子に「教養人ってどういう人のことを言うと思うか。」と尋ね、「学問のある人が教養人じゃない。つらさに敏感な人を本当の教養人だ。」と言ったそうです。太宰は、『優』という字が好きで、「人に憂うで優しい。人の辛さや悲しみに敏感なことが優しさの条件であり、人

が優れているということの条件だ。」と語っていたとのこと。そんな太宰の人柄が垣間見られる言葉の中に、「人の前で何かを言うのはとても恥ずかしいことであり、どんなに正しいと思っても、堂々とやって何の疑問に思わない人は信用できない、むしろ、『てらい』とか『恥ずかしさ』を常に感じられる人を自分は信じる。」という趣旨のものがあるそうです。

皆さんの中にも、人前で話すのは恥ずかしい、あるいは自分の意見に自信がもてないと思っている人がいるのではないかと思います。そんなとき、この太宰の言葉は何よりの励ましになるのではないのでしょうか。自分が正しいと思って意見を言う際にも、それに対して様々な考えがあるのは当然で、そうした多様な意見に耳を傾けることが大事だし、聞く側にまわったときは、意見を言っている人は恥ずかしさを抑え、勇気を出しているのだと思いやることができる人でありたい、と太宰は語っているように思います。これからの時代、グローバル化が進み、海外の人たちと対等に議論し、協働していく力が求められています。太宰治が語る感受性を大切にしていきたいものです。

## UTY教育美術展



最高賞  
文部科学大臣賞  
『thesis』

「最高賞をいただき光栄に思う一方で、自己のテーマを十分に表現しきれなかった悔しさが残ります。いただいた評価を真摯に受け止めつつ、その悔しさを糧に制作を続けていきたいです。」 3年 田中美桜(長坂中)



県立美術館賞  
『十八歳』



「協力してくださった方々、支えてくれた方々に感謝申し上げます。『十八歳』は高校生活最後の油画で思い出も強かったので、このような賞をいただけてとても嬉しいです。」 3年 坂本 菜南子(竜王北中)

テレビ山梨社長賞  
『教室』



「今回入賞できたことをとても嬉しく思っています。先生方や部の仲間たちからの沢山のアドバイスのおかげです。協力してくださった皆さん、本当にありがとうございました。」 2年 若月 久恵(春日居中)

## この夏、野球部が大活躍しました

この夏 西高野球部が大活躍しました。大会前の組み合わせ抽選会では3年野球部マネージャーの2人が総司会を務め、開会式では3年の二俣さんが国家を独唱しました。チームも初戦の対甲府南高戦を4-2で逆転勝利しました。



国歌を独唱する二俣さん

「開会式の大観衆の前で歌いたい」との思いから応募しました。自分を信じて悔いの残らないプレーをして欲しいという選手のみなさんへのエールを込めて歌いました。

3年 二俣深晴  
(山梨大附属中)



抽選会で司会も担当した  
猪又さん(左)と築城さん(右)

私達は部員の努力が必ず結果につながると信じ、日々活動してきました。三年生最後の夏の大会での1勝はかけがえのない思い出です。沢山の応援ありがとうございました。

3年 猪又桃子(韭崎東中)  
築城孝加子(塩山中)

### vs.甲府南高戦 4-2で逆転勝利!!



試合前の儀式



主将坂本勝ち越し安打



校歌が球場に♪



完投したエース早川

夏の大会では応援ありがとうございました。小瀬球場での全校みんなで歌った校歌は僕たちの一生の宝物です。後輩達、そして西高で野球をしたい中学生のみなさんは、もっと上を目指して頑張ってください。期待しています。

3年 野球部主将 坂本 壮(白根巨摩中)



Kofu Nishi High School

### 山梨県立甲府西高等学校

〒400-0064 山梨県甲府市下飯田4丁目1-1  
TEL:055-228-5161 FAX:055-228-5164  
URL <http://www.nishi.kai.ed.jp/>

HPをリニューアルしました。

発行日/2018.10 編集/広報委員会



### \*stage /steɪdʒ/

[[「立っている場所」が原義] — ㊦(㊧) ~s/-ɪz / ㊨

1 舞台、ステージ(◆世界の象徴)

2 [活動の]舞台、場所[for, of]

3 (発達・発展などの)段階、時期

用例) 1 N-stage 西高生の時代(時期)

2 N-stage 西高生の活動舞台